

教科	農業	科目	農業と環境	単位数	4
学年	1年	教科書	農業と環境（農文協）		
学科	園芸流通科	副教材	なし		

学習目標	①農業生物（トマト、ダイコン、ハクサイ）の播種から収穫までを自らの手で行い、栽培管理の方法及び生理生態的特性について、体験を通して身に付けます。
	②農業生物の栽培環境について、理解します。
	③自然環境問題について、理解します。

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 人間生活と農業と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの暮らしと農業の関りについて学習します。 ・プロジェクト学習の方法、学校農業クラブについて学習します。 ・トマトの栽培プロジェクトに挑戦します。
	2 農業生産と環境保全の実際	
2	3 農業生産と環境保全の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで計画を立てて、ダイコン、ハクサイの栽培プロジェクトに挑戦します。 ・地域環境の成り立ちやその役割について学習します。
		<ul style="list-style-type: none"> ・日本の農業・農村の姿について理解します。 ・農業の多面的機能と地域の活性化について理解します。
3	4 私たちの暮らしと食料・農業・農村	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の農業・農村の姿について理解します。 ・農業の多面的機能と地域の活性化について理解します。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ①予習・復習…実習内容の予習、実習後の記録を毎回丁寧にまとめて提出します。 ②夏休み課題…トマト栽培プロジェクトのレポートを提出します。 ③冬休み課題…ダイコン、ハクサイの栽培プロジェクトのレポートを提出します。 ④その他…適宜、調査等を実施して結果を提出します。 	

評価の観点	趣旨
I 関心・意欲・態度	・農業と環境に関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。
II 思考・判断・表現	・農業と環境に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
III 技能	・農業と環境に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、農業に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
IV 知識・理解	・農業と環境に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、農業の木々や役割を理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)

教科	農業	科目	総合実習	単位数	3
学年	1年	教科書	なし		
学科	園芸流通科	副教材	なし		

学習目標	<p>①果樹・草花・野菜の園芸作物を栽培する体験的な学習を通して、初歩的な技術を身に付けます。</p> <p>②園芸作物の栽培管理技術や流通について理解します。</p> <p>③農業経営の実践的能力の基礎を身に付けます。</p>
------	--

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・総合実習で何を学ぶのか、農場でどのようなものを栽培しているか理解します。 ・果樹・草花・野菜の部門で用いる農具の名称や使い方、春の雑草の名前を学習します。 ・果樹ではブドウの誘引や袋掛け、草花や野菜では管理、収穫等の作業を理解します。
	2 農具の名称と使用法、春の雑草	
	3 苗の育苗、定植準備、誘引、袋掛け	
2	4 播種・栽培、夏の雑草	<ul style="list-style-type: none"> ・草花や野菜では、播種前の準備及び栽培、果樹では肥培管理や摘果作業を体験します。 ・代表的な病害虫の名称とその防除方法について学習します。 ・果樹や野菜では収穫や選別・調整、草花では販売物の準備や調整を体験します。
	5 病害虫と防除	
	6 収穫・調整、農業祭の準備、販売	
3	7 施設管理・せん定	<ul style="list-style-type: none"> ・果樹では、施設栽培を学習し、柑橘類のせん定作業を体験します。 ・野菜で播種準備、草花では播種、育苗、鉢上げ作業を体験します。 ・1年間の学習成果をレポートにまとめて提出します。
	8 播種準備、播種、鉢上げ	
	9 レポート作成	
課題	<p>①予習・復習…毎回実施した実習内容を記録簿に丁寧にまとめて提出します。</p> <p>②夏休み課題…指定された日に3部門各1回、各3時間実習します。</p> <p>③冬休み課題…指定された日に3部門各1回、各3時間実習します。</p> <p>④その他…年2回、農業鑑定競技があり、鑑定ノートを作成し提出します。</p>	

評価の観点	内容
I 関心・意欲・態度	実習に興味や関心を示し、意欲的に取り組む姿勢や態度が見られる。
II 思考・判断・表現	草花・野菜・果樹の栽培に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、その過程や結果を適切に表現している。
III 技術	草花・野菜・果樹の栽培に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、適切に活用している。
IV 知識・理解	学習テーマに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、学習の意義や意味を理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)

教科	農 業	科目	農業情報処理	単位数	2
学年	1 年	教科書	農業情報処理(実教出版)		
学科	園芸流通科	副教材	な し		

学習目標	①情報に関する知識と技術を習得するとともに、農業情報及び環境情報を主体的に活用する能力と態度を育てます。
	②実社会において活用できるパソコンの基礎的な操作技術を身に付けます。
	③レポートなどの文書作成技術を身に付けます。

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 生活と農業の情報化	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの生活と情報について学習します。 ・コンピュータによる情報の活用・情報社会のモラルとセキュリティを理解します。
	2 情報の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・農業を支える情報について理解します。 ・コンピュータと情報処理について学習します。 ・情報通信ネットワークについて学習します。
2	3 コンピュータによる情報の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェアと情報の活用について学習します。 ・インターネットのしくみを理解します。 ・日本語ワードプロセッサや表計算ソフトウェアの利用などについて学習します。
	4 情報システム	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの概要について学習します。 ・システム開発やデータベースについて学習します。
3	5 農業情報及び森林・環境情報の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・農業情報と伝達メディアについて学習します。 ・農業の各分野における情報の活用と農業のシステム化について学習します。 ・森林や環境情報の活用について学習します。
	6 農業学習と情報活用	<ul style="list-style-type: none"> ・農業学習やプロジェクト学習への応用を考えます。
課題	①夏休み課題…ビジネス文書実務検定の演習問題と筆記問題 ②冬休み課題…情報処理検定の演習問題と筆記問題	

評価の観点		趣 旨
I	関心・意欲・態度	・農業と情報技術との関わりや自らの課題に対して関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。
II	思考・判断・表現	・情報を自らの判断で適切な処理方法を選択し、基礎的な知識と技術を基に合理的に表現する力を身に付けている。
III	技能	・パソコンやアプリケーションソフトの操作能力をはじめ、情報の収集、分析などの基礎的な技術を身に付けている。
IV	知識・理解	・情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に処理する知識を身に付け、農業情報などを効果的に活用する手法を理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノート」の提出状況「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)	

教科	農業	科目	総合実習（野菜班）	単位数	3
学年	2年	教科書	なし		
学科	園芸流通科	副教材	なし		

学習目標	<p>①野菜を栽培する体験的な学習を通して、専門的な技術を学習し、2年次より進んだ知識や技術を習得します。</p> <p>②栽培管理技術や知識、野菜の商品化や流通の理解を深めるとともに、農業経営の実践的能力の基礎を学びます。</p>
------	--

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 春の野菜	・春野菜の播種、定植、灌水、追肥等の一般管理と収穫・商品化について学びます。
2	2 秋の野菜	・秋野菜の播種、定植、灌水、追肥等の一般管理と収穫や商品化について学びます。
3	3 育苗	・播種、鉢上げ等育苗管理全般について学習します。
課題	<p>①予習・復習…毎回実施した実習内容を記録簿に丁寧にまとめて提出</p> <p>②夏休み課題…指定された日に3回程度、各3時間実習</p> <p>③冬休み課題…指定された日に1回、4時間実習</p> <p>④その他…各種発表校内大会出場に向け、プロジェクト研究</p>	

評価の観点	内 容
I 関心・意欲・態度	・野菜の栽培に関心をもち、学習の取り組みが意欲的である。準備や後片付けを自ら進んで取り組んでいる。
II 思考・判断・表現	・学習の内容を記録・観察し、プリントやレポートなどにまとめる能力を身に付けるように取り組んでいる。
III 技能	・野菜栽培の実習を真剣に取り組む、技能を身に付けている。
IV 知識・理解	・野菜栽培についての知識を高め、基礎的・基本的な内容を理解するように取り組んでいる。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノート」の提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)

教科	農 業	科目	総合実習（草花）	単位数	3
学年	2 年	教科書	な し		
学科	園芸流通科	副教材	な し		

学習目標	①春まき及び秋まき1年草を栽培し、各草花の特徴や栽培方法・管理作業について、基礎的な知識や技術を習得させる。
	②草花の繁殖方法について、種子繁殖と栄養繁殖の知識と技術を習得させる。
	③施設を利用した草花栽培に必要な知識と技術を習得させる。

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 春まき1年草の栽培管理 (播種・鉢上げ・施肥・鉢替え)	・草花の名称や特徴、栽培方法・管理作業を理解し、実際の栽培で活用できるようにする。
	2 春の草花の管理 (除草、出荷準備)	・作業の目的を確認し作業に取り組むとともに、各草花の名称や品種の特徴を理解する。
	3 種子繁殖と栄養繁殖（さし木）	・種子繁殖と栄養繁殖の違いを理解し、栄養繁殖のさし木の技術を習得する。
2	4 秋まき1年草の栽培管理 (播種・鉢上げ・施肥・鉢替え)	・草花の名称や特徴を栽培・管理作業を理解し、実際の栽培で活用できるようにする。
	5 農業祭準備（学習展）	・農業祭学習展で展示する作品について、計画立案し準備する。
	6 冬の草花の管理（保温・暖房）	・冬季の草花の栽培管理及び施設栽培について理解し、実際の栽培で活用できるようにする。
3	7 カーネーションの管理	・鉢物の草花の特徴、栽培方法・管理作業を理解し、実際の栽培で活用できるようにする。
	8 シクラメンの管理（鉢上げ）	・草花を施設栽培する際に必要な環境条件や作業内容を理解する。 ・鉢花の名称や品種の特徴を理解する。
課題	① 予習・復習・・・毎回実施した内容を記録簿に丁寧にまとめて提出 ② 夏休み課題・・・指定した日に3回、各3時間実習 ③ 冬休み課題・・・指定した日に3回、各2時間実習 ④ そ の 他・・・実習報告書（レポート）を作成し提出	

評価の観点		趣 旨
I	関心・意欲・態度	・実習作業やプロジェクト学習に興味や関心を示し、意欲的に取り組む態度が見られる。
II	思考・判断・表現	・草花栽培に関する思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。
III	技能	・草花の栽培に関する基礎的な技術を身に付け、草花の生産や流通に関するプロジェクト学習を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
IV	知識・理解	・草花に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、草花の栽培や経営について正しく理解している。
評価方法	①定期考査は2回（1学期末、2学期末）実施します。 ②1学期は総合観察（学習態度を含む）60%、考査15%、農業鑑定15%、実習手帳の記録10%、欠席と服装不備は減点の100点法で評価します。 ③2学期は総合観察（学習態度を含む）60%、考査30%、実習手帳の記録10%、欠席と服装不備は減点の100点法で評価します。 ④3学期は総合観察（学習態度を含む）45%、考査15%、農業鑑定15%、実習手帳の記録10%、レポート15%、欠席と服装不備は減点、農業クラブ活動参加は加点の100点法で評価します。	

教科	農 業	科目	総合実習（果樹班）	単位数	3
学年	2 年	教科書	な し		
学科	園芸流通科	副教材	な し		

学習目標	①園芸流通科の基幹的作物である果樹のうち、落葉果樹の栽培体験を通して、1年次の内容より進んだ知識や技術を習得します。
	②並行して学習する科目「果樹」の中で学ぶブドウの栽培管理技術についての理解や深化を深めるとともに、販売までの実践的能力の基礎を習得します。

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 草刈機を用いた除草	・落葉果樹（カキ・モモ・ブドウ等）の区分や栽培品種を理解します。 ・草刈機の操作方法や各時期（春先、梅雨、夏）の土壌管理について理解します。
	2 摘果、袋かけ （カキ・モモ・ナシ）	・カキ・モモ等の摘果やモモ・ナシ・ブドウの袋かけ作業を体験します。
	3 出荷調整 （モモ・ブルーベリー等）	・モモ・ブドウやブルーベリーの出荷方法について学習します。
2	4 夏草の除草、かん水	・除草剤や草刈機・除草グワを使用した除草を行います。
	5 出荷調整 （ブドウ・カキ・ナシ）	・カキ・ナシ等の防鳥対策や、収穫や選別について学習します。
	6 防鳥対策、施肥 （お礼肥、元肥）	・樹勢回復や来年の安定した結実のため、お礼肥や元肥を施します。
3	7 土壌改良	・土壌改良を目的とした深耕や苦土石灰の施用を体験します。
	8 せん定	・落葉果樹全般のせん定を行い、剪定枝は、枝処理機で粉砕します。
	9 レポート作成、まとめ	・1年間のまとめをレポートにして提出します。
課題	①予習・復習…毎回実施した実習内容を記録簿に丁寧にまとめて提出します。 ②夏休み課題…指定された日に3回、各3時間実習します。 ③冬休み課題…指定された日に1回、各3時間実習します。 ④その他 …各種発表校内大会出場に向け、プロジェクト研究を実施します。	

評価の観点		趣 旨
I	関心・意欲・態度	・実習に興味や関心を示し、意欲的に取り組む姿勢や態度が見られる。
II	思考・判断・表現	・果樹栽培に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、その過程や結果を適切に表現している。
III	技能	・果樹栽培に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、適切に活用している。
IV	知識・理解	・果樹に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、果樹の栽培や果樹経営を正しく理解している。
評価方法	①定期考査は3回(1学期末、2学期末、学年末)実施します。 ②1学期は総合観察(学習態度を含む)60%、考査15%、農業鑑定15%、実習手帳の記録10%、欠席と服装不備は減点の100点法で評価します。 ③2学期は、総合観察(学習態度を含む)60%、考査30%、実習手帳の記録10%、欠席と服装不備は減点の100点法で評価します。 ④3学期は、総合観察(学習態度を含む)45%、考査15%、農業鑑定15%、実習手帳の記録10%、レポート15%、欠席と服装不備は減点、農業クラブ活動参加は加点の100点法で評価します。	

教科	農業	科目	農業情報活用	単位数	3
学年	2年	教科書	自作教科書		
学科	園芸流通科	副教材	なし		

学習目標	①表計算ソフトウェアやプレゼンテーションソフトウェアなどを用いて、様々なデータを処理することができる能力を身に付けます。
	②情報機器を駆使して、プロジェクト学習に取り組む態度と能力を育成します。

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 生活を農業の情報化 2 コンピュータによる情報の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の学習内容を復習します。 ・表計算ソフトウェアを使ってビジネス文書を作り、分析する方法を学びます。
2		<ul style="list-style-type: none"> ・画像・図形処理ソフトウェアを使って効果的な文書を作る方法を学びます。 ・プレゼンテーションを使って、説得力のあるプレゼン方法を学びます。
3	3 農業情報の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の情報化や情報の活用について学びます。 ・機器を用いたプロジェクト学習の計画を立てます。 ・マクロとしてプログラミングを学びます。
課題	①予習・復習…授業ごとの課題をします。 ②夏休み課題…情報処理検定の課題をします。 ③冬休み課題…画像処理ソフトウェアを用いた作品制作をします。	

	評価の観点	趣 旨
I	関心・意欲・態度	・情報化社会における情報の意義に関心をもち、農業と情報技術との関りについて意欲的に学習し、自分のものにしようとしている。
II	思考・判断・表現	・情報を目的に応じ表現・活用するために思考を深め、基礎的な知識と技術を基に判断し、その過程や結果を適切に表現している。
III	技能	・基本的な操作能力はもちろんのこと、情報の収集・分析・加工等に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、適切に選択して活用している。
IV	知識・理解	情報機器等を適切に活用して情報を収集、処理、表現するための知識を身に付け、農業情報や環境情報を活用する効果的な手法について理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノート」の提出状況「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)	

教科	農業	科目	野菜	単位数	2
学年	2年	教科書	野菜（実教出版）		
学科	園芸流通科	副教材	なし		

学習目標	<p>①野菜の栽培と経営に必要な知識と技術を実験・実習・調査研究活動等から学びます。</p> <p>②野菜の特性や栽培に適した環境を知るとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を学びます。</p> <p>③野菜の収穫・商品化・販売を体験し、流通に関する知識と技術を学びます。</p>
------	---

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 メロンの栽培	<ul style="list-style-type: none"> メロンの特性について学習します。 メロンの栽培管理を行います。（誘引、受粉、玉つり、袋掛け） 生育調査を行います。 収量調査、品質調査を行います。
2	2 キャベツ・ブロッコリーの栽培	<ul style="list-style-type: none"> キャベツ・ブロッコリーの特性、畑の準備、種まきについて学習します。 キャベツ・ブロッコリーの栽培管理を行います。（水やり、追肥、除草、間引き、土寄せなど） 生育調査を行います。 収穫、収量調査、品質調査を行います。
3	3 タマネギの栽培	<ul style="list-style-type: none"> タマネギの特性、畑の準備、苗の定植について学習します。 タマネギの栽培管理について学びます（追肥、除草、土寄せなど） 生育調査を行います。
課題	<p>①予習・復習・・・毎回実施した実習内容をプリントにまとめて提出</p> <p>②夏休み課題・・・メロン栽培についてのレポートを作成</p> <p>③冬休み課題・・・キャベツ、ブロッコリー栽培についてのレポートを作成</p>	

評価の観点	内 容
I 関心・意欲・態度	野菜の栽培に関心を持ち、学習の取り組みが意欲的である。座学では授業の準備を整え、時間内の内容が理解するように努め、実習の際には、準備・後片付けを自ら進んで取り組んでいる
II 思考・判断・表現	学習の内容を記録・観察し、プリントやレポートなどにまとめる能力を身に付けるように取り組んでいる
III 技能	野菜栽培の実習を真剣に取り組む、技能を身に付けている。
IV 知識・理解	野菜栽培についての知識を高め、基礎的・基本的な内容を理解するように取り組んでいる。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノート」の提出状況「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)

教科	農業	科目	果樹	単位数	2
学年	2年	教科書	果樹(実教出版)		
学科	園芸流通科	副教材			

学習目標	果樹(ブドウを主体)の栽培について体験的、探求的な学習を通して、落葉果樹の特性や生理を知り、生産性の向上を図る能力や態度を身に付けます。
------	--

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 ブドウの栽培プロジェクト (1)栽培上の特性と品種 (2)新梢・花の管理 (3)ホルモン処理 (4)摘粒・整形・袋かけ (5)病害虫・鳥害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ブドウ栽培特性や品種の特性を理解します。 ・枝、葉、花の成長を観察します。 ・結果習性を理解し、高品質の果実生産にするための管理方法を学習します。 ・無核化の要領について理解します。 ・摘粒の目的を調べ、形の良いブドウにするための方策を学習します。 ・被害状況を観察し、対策を検討します。
2	(6)収穫・選別、品質調査 (7)プロジェクトのまとめ (8)土壌、肥培管理 (9)落葉処理 2 カキの防鳥対策、出荷調整	<ul style="list-style-type: none"> ・出荷のための選果や調整を行います。 ・生育調査、品質調査の結果をまとめます。 ・樹勢回復や来年の安定した結実のため、苦土石灰や元肥を施します。 ・カキの防鳥対策や、収穫・選別について学習します。
3	3 ブドウの冬季管理 (1)せん定 (2)粗皮削り 4 落葉果樹のせん定枝の処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ブドウの各品種に応じたせん定や、粗皮削りを行います。 ・深耕を行い、剪定枝を土中に埋めます。
課題	①予習・復習…毎回実施した実習内容をプリントに丁寧にまとめて提出します。 ②夏休み課題…ブドウの栽培プロジェクトの1学期分をまとめて提出します。	

評価の観点	趣旨
I 関心・意欲・態度	・実習・実習及びプロジェクト学習に興味や関心を示し、意欲的に取り組む姿勢や態度が見られる。
II 思考・判断・表現	・果樹栽培に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。
III 技能	・果樹栽培に関する基礎的な技術を身に付け、プロジェクト学習を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
IV 知識・理解	・果樹に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、果樹の栽培や果樹経営を正しく理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)

教科	農 業	科目	草 花	単位数	2
学年	2 年	教科書	草 花 （ 実 教 出 版 ）		
学科	園芸流通科	副教材	な し		

学習目標	①1年草の栽培を通じて栽培技術を学び、播種から開花までの技術を習得させる。
	②盆栽菊とロケット菊栽培を通して、草花のライフサイクルや技術を習得させる。
	③環境調節技術を学び、開花を早めたり、遅らせたりする技術を習得させる。

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 草花園芸の特色	・草花の種類や分類方法を理解し、さらに生産の現状と消費の動向を知る。
	2 秋ギクの栽培管理	・盆栽菊とロケット菊の栽培を行い、管理作業の違いを学ぶとともに、農業祭等で展示する。
	3 春まき1年草の管理	・春まき1年草の栽培管理を通じて、各草花の特徴や種子繁殖の技術を学ぶ。
2	4 草花の生育と環境	・種子繁殖の成長過程を知り、草花の生育と環境条件について理解する。 ・開花時期が人工的に調節できることを学ぶ。
	5 秋まき1年草の管理	・秋まき1年草の栽培管理を通じて、各草花の特徴や種子繁殖の技術を学ぶ。
	6 鉢もの生産	・鉢物生産と切り花生産の違いを理解し、鉢花の栽培方法や作業の技術を習得する。
3	7 品種改良と繁殖	・栄養繁殖の特徴と方法を理解し、実際に体験し技術を習得する。
	8 草花の生育と土・水・肥料	・生育に適した土・水・肥料条件を理解する。
	9 草花の栽培管理 (草姿と品質)	・高品質の草花を栽培する方法を考える。
課題	① 予習・復習・・・毎回実施した実習内容をプリントにまとめて提出 ② 夏休み課題・・・草花に関するレポート提出（新聞・雑誌の記事） ③ 冬休み課題・・・草花の市場価格調査	

	評価の観点	趣 旨
I	関心・意欲・態度	・実験・実習やプロジェクト学習に興味や関心を示し、意欲的に取り組む態度が見られる。
II	思考・判断・表現	・草花栽培に関する思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。
III	技能	・草花の栽培に関する基礎的な技術を身に付け、草花の生産や流通に関するプロジェクト学習を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
IV	知識・理解	・草花に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、草花の栽培や経営について正しく理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノート」の提出状況「授業への取組」「出席状況」をもとに総合的に評価します。(100点法)	

教科	農業	科目	農業経営	単位数	2
学年	2年	教科書	農業経営（実教出版）		
学科	園芸流通科	副教材	反復式 学習と検定 簿記問題集 全商3級 改訂版		

学習目標	①我が国における農業経営の実態と特徴を理解し、企業経営との違いを理解します。
	②複式簿記による基本的な取引の記帳から決算までの流れを理解し、基本的な農業経営診断ができるようにします。

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 農業の動向と農業経営	・農業経営の実態と特徴を理解します。
	2 農業経営の会計	・複式簿記の基本的な流れを理解します。
2	3 各種取引の記帳と決算	・農業経営における各種の取引の記帳方法を理解します。
	4 農産物の原価計算	・原価計算の仕組みについて理解します。
3	5 農業経営の組織と運営	・農業経営の特徴を理解します。
	6 農業経営の診断と設計	・経営診断の大切さと、診断のポイントを理解します。
課題	①予習・復習…授業ごとに問題集を解きます。 ②夏休み課題…農業経営についての調べ学習をします。 ③冬休み課題…簿記実務検定の問題集を解きます。	

評価の観点		趣 旨
I	関心・意欲・態度	・農業経営に関する諸課題について関心をもち、その改善・向上して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。
II	思考・判断・表現	・農業経営に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
III	技能	・農業簿記や原価計算等に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、農業経営に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
IV	知識・理解	・農業経営に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、農業経営の意義や役割、特徴を理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点方法)	

教科	農 業	科目	課題研究	単位数	2
学年	3 年	教科書	な し		
学科	園芸流通科	副教材	な し		

学習目標	①各自がテーマを設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化を図ります。
	②自らが取り組むことで、問題解決能力や自発的、創造的な学習態度を育てます。

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 テーマ、計画、動機 (野菜・果樹・草花・流通)	・テーマに沿って、年間計画を立案します。 ・安易な課題設定にならないように留意します。
	2 計画の実践	・計画を確認し、実践し、検証します。
2	2 計画の実践	・計画を確認し、実践し、検証します。
	3 研究のまとめ	・研究の内容や結果をまとめ分析します。
	4 発表会	・課題研究発表会で研究内容を紹介し、研究成果を報告します。
3	5 報告書作成	・レポート作成の方法を習得します。 ・1年間の研究への取り組みを振り返ります。
課題	①予習・復習・・・毎回、研究の成果を記録簿に記入し、次時の計画を立てます。 ②夏休み課題・・・自らの計画の実践、途中経過をまとめます。 ③冬休み課題・・・結果を分析し、実施報告書(レポート)を作成します。	

評価の観点		趣 旨
I	関心・意欲・態度	・自らが課題を設定し実践することで、研究に興味や関心を示し、意欲的に取り組む態度が見られる。
II	思考・判断・表現	・研究テーマに関する思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、調査をしたり作品を制作したりする。
III	技能	・課題を研究することで、研究に関連した基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。
IV	知識・理解	・課題に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、研究を進める中で正しく理解している。
評価方法	各研究テーマに沿った活動目標の到達度を、四つの観点から、「課題やレポート、報告書の提出状況」「実習への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)	

教科	農業	科目	総合実習（野菜班）	単位数	4
学年	3年	教科書	なし		
学科	園芸流通科	副教材	なし		

学習目標	<p>①野菜を栽培する体験的な学習を通して、専門的な技術を学習し、2年次より進んだ知識や技術を習得します。</p> <p>②栽培管理技術や知識、野菜の商品化や流通の理解を深めるとともに、農業経営の実践的能力の基礎を学びます。</p>
------	--

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 春の野菜	・春野菜の播種、定植、灌水、追肥等の一般管理と収穫・商品化について学びます。
2	2 秋の野菜	・秋野菜の播種、定植、灌水、追肥等の一般管理と収穫や商品化について学びます。
3	3 育苗	・播種、鉢上げ等育苗管理全般について学習します。
課題	<p>①予習・復習…毎回実施した実習内容を記録簿に丁寧にまとめて提出</p> <p>②夏休み課題…指定された日に3回程度、各3時間実習</p> <p>③冬休み課題…指定された日に1回、各4時間実習</p> <p>④その他…各種発表校内大会出場に向け、プロジェクト研究</p>	

評価の観点	内容
I 関心・意欲・態度	・野菜の栽培に関心を持ち、学習の取り組みが意欲的である。準備や後片付けを自ら進んで取り組んでいる。
II 思考・判断・表現	・学習の内容を記録や観察し、プリントやレポートなどにまとめる能力を身に付けるように取り組んでいる。
III 技能	・野菜栽培の実習を真剣に取り組む、技能を身に付けている。
IV 知識・理解	・野菜栽培についての知識を高め、基礎的・基本的な内容を理解するように取り組んでいる。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノート」の提出状況「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)

教科	農 業	科目	総合実習（草花）	単位数	4
学年	3 年	教科書	な し		
学科	園芸流通科	副教材	な し		

学習目標	①カーネーションやシクラメン等の栽培を通して鉢花の栽培について学び、繁殖から開花までの作業をし、必要な知識と技術を習得する。
	②施設栽培での鉢花栽培技術と、付加価値を付けた販売方法を習得する。

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 カーネーションの管理	・特徴と作業内容や目的を理解し、実際の栽培で活用できるようにする。
	2 鉢花の苗物管理	・鉢花の苗物の育苗管理方法や成長過程を理解し、健全な苗を生産する。
	3 鉢もの管理	・各草花の特徴や適した管理作業を理解し、実際の栽培で活用できるようにする。
2	4 シクラメンの管理	・特徴と作業内容や目的を理解し、実際の栽培で活用できるようにする。
	5 施設の保温	・草花の温度管理の重要性を理解し、寒さ対策の方法を理解する。
	6 サイネリアの管理	・温度管理や管理作業を理解し、実際の栽培で活用できるようにする。
3	7 春苗の用土作り	・鉢花に適した用土の配合割合を理解し、高品質の苗生産を目指す。
	8 草花の寄せ植え	・1年草や多肉植物を用いた寄せ植えを製作し、付加価値を付けた販売方法を学ぶ。
課題	① 予習・復習・・・毎回実施した内容を記録簿に丁寧にまとめて提出 ② 夏休み課題・・・指定した日に3回、各3時間実習 ③ 冬休み課題・・・指定した日に3回、各2時間実習 ④ そ の 他・・・実習報告書（レポート）を作成し提出	

評価の観点		趣 旨
I	関心・意欲・態度	・実習作業やプロジェクト学習に興味や関心を示し、意欲的に取り組む態度が見られる。
II	思考・判断・表現	・草花栽培に関する思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。
III	技能	・草花の栽培に関する基礎的な技術を身に付け、草花の生産や流通に関するプロジェクト学習を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
IV	知識・理解	・草花の栽培に関する基礎的な技術を身に付け、草花の生産や流通に関するプロジェクト学習を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
評価方法	①定期考査は2回（1学期末、2学期末）実施します。 ②1学期は総合観察（学習態度を含む）60%、考査15%、農業鑑定15%、実習手帳の記録10%、欠席と服装不備は減点の100点法で評価します。 ③2学期は総合観察（学習態度を含む）60%、考査30%、実習手帳の記録10%、欠席と服装不備は減点の100点法で評価します。 ④3学期は総合観察（学習態度を含む）45%、実習手帳の記録10%、レポート45%、欠席と服装不備は減点、農業クラブ活動参加は加点の100点法で評価します	

教科	農 業	科目	総合実習（果樹班）	単位数	4
学年	3 年	教科書	な し		
学科	園芸流通科	副教材	な し		

学習目標	①園芸流通科の基幹的作物である柑橘全般（温州ミカン、各種中晩柑類）の栽培体験を通して、2年次の内容より進んだ知識や技術を習得します。
	②並行して学習する科目「果樹」の中で学ぶ温州ミカンの栽培管理技術についての理解や深化を深めるとともに、販売までの実践的能力の基礎を習得します。

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 草刈機を用いた除草	・各種柑橘（温州ミカン・中晩柑類）の栽培品種を理解します。
	2 害虫対策 （ゴマダカサバ、ミカンダニ）	・化学的防除（農薬散布）や物理的防除（捕殺）を行います。
	3 摘果 （樹冠上部摘果、後期摘果）	・各種柑橘に応じた時期、方法で摘果を行います。
2	4 夏草の除草、かん水	・除草剤や草刈機・除草グワを使用した除草を行います。
	5 施肥	・樹勢回復や来年の安定した結実のため、秋肥（お礼肥）を施します。
	6 袋かけ	・中晩柑類（ネーブル・デコポン・紅まどんな等）の袋かけを行います。
	7 出荷調整 （温州ミカン・はれひめ）	・温州ミカンの収穫・選別について学習します。
3	7 出荷調整（中晩柑類）	・中晩柑類（ネーブル・伊予柑等）の収穫・選別について学習します。
	8 土壌改良	・土壌改良を目的とした深耕や苦土石灰の施用を行います。
	9 レポート作成、まとめ	・1年間のまとめをレポートにして提出します。
課題	①予習・復習…毎回実施した実習内容を記録簿に丁寧にまとめて提出します。 ②夏休み課題…指定された日に3回、各3時間実習します。 ③冬休み課題…指定された日に2回、各3時間実習します。 ④その他 …各種発表校内大会出場に向け、プロジェクト研究を実施します。	

評価の観点	趣 旨
I 関心・意欲・態度	・実習に興味や関心を示し、意欲的に取り組む姿勢や態度が見られる。
II 思考・判断・表現	・果樹栽培に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、その過程や結果を適切に表現している。
III 技能	・果樹栽培に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、適切に活用している。
IV 知識・理解	・果樹に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、果樹の栽培や果樹経営を正しく理解している。
評価方法	①定期考査は2回(1学期末、2学期末)実施します。 ②1学期は総合観察(学習態度を含む)60%、考査15%、農業鑑定15%、実習手帳の記録10%、欠席と服装不備は減点の100点法で評価します。 ③2学期は、総合観察(学習態度を含む)60%、考査30%、実習手帳の記録10%、欠席と服装不備は減点の100点法で評価します。 ④3学期は、総合観察(学習態度を含む)45%、実習手帳の記録10%、レポート45%、欠席と服装不備は減点、農業クラブ活動参加は加点の100点法で評価します。

教科	農業	科目	野菜	単位数	3
学年	3年	教科書	野菜(実教出版)		
学科	園芸流通科	副教材	なし		

学習目標	①野菜の栽培と経営に必要な知識と技術を実験・実習・調査研究活動等から学びます。 ②野菜の特性や栽培に適した環境を知るとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を学びます。 ③野菜の収穫・商品化・販売を体験し、流通に関する知識と技術を学びます。
------	--

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 野菜栽培の実際	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスを10班程度に分け、各班がそれぞれ選択した野菜を栽培します。 ・春まき野菜の管理作業を学習します。
2	2 野菜栽培の実際	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスを10班程度に分け、各班がそれぞれ選択した野菜を栽培します。 ・秋まき野菜の管理作業を学習します。
3	3 野菜栽培の実際	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2学期で学んだ事項についてまとめ学習します。
課題	①予習・復習・・・毎回実施した実習内容をプリントにまとめて提出 ②夏休み課題・・・春まき野菜栽培の評価、秋まき野菜の計画 ③冬休み課題・・・春まき、秋まき野菜の計画と実施についてのレポート	

評価の観点	内容
I 関心・意欲・態度	・野菜の栽培に関心を持ち、学習の取り組みが意欲的である。座学では授業の準備を整え、時間内の内容が理解するように努め、実習の際には、準備・後片付けを自ら進んで取り組んでいる。
II 思考・判断・表現	・学習の内容を記録・観察し、プリントやレポートなどにまとめる能力を身に付けるように取り組んでいる。
III 技能	・野菜栽培の実習を真剣に取り組む、技能を身に付けている。
IV 知識・理解	・野菜栽培についての知識を高め、基礎的・基本的な内容を理解するように取り組んでいる。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノート」の提出状況「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)

教科	農 業	科目	果 樹	単位数	2
学年	3 年	教科書	果 樹 (実教出版)		
学科	園芸流通科	副教材	な し		

学習目標	果樹（温州ミカン〈品種：宮川早生〉を主体）の特性や生理を知り、生産性の向上を図る能力や態度を養うほか、果樹一般の販売方法や流通形態について学習します。
------	---

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	温州ミカンの栽培プロジェクト 1 栽培上の特性と品種 2 新梢・花の管理 3 生育調査、果実肥大調査 4 土壌管理 5 摘果 6 病虫害対策	<ul style="list-style-type: none"> 宮川早生の栽培特性や品種特性を理解します。 枝、葉、花の成長を観察します。 結果習性を理解し、高品質の果実生産するための管理方法を学習します。 班別で生育調査、果実肥大調査を行います。 どんな害虫や病気が発生しているか観察し ゴマダラカミキリやダニの防除を行います。
2	7 仕上げ摘果 8 枝つり、支柱立て 9 土壌管理と施肥 10 品質調査 11 収穫・出荷調整 12 プロジェクトのまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 葉果比を調べ、肥大の具合を観察します。 樹勢回復や来年の安定した結実のため、秋肥（お礼肥）を施します。 糖度測定や酸度測定を行います。 収穫、出荷、調整を行います。 生育調査、品質調査の結果をまとめます。
3	13 土作り 14 植え付け準備	<ul style="list-style-type: none"> 土壌改良の目的で、苦土石灰の施用と深耕を行います。 間伐・移植や苗木の定植のための準備を行います。
課題	①予習・復習…毎回実施した実習内容をプリントに丁寧にまとめて提出します。 ②夏休み課題…温州ミカンの栽培プロジェクトの1学期分をまとめて提出します。	

	評価の観点	趣 旨
I	関心・意欲・態度	・実習及びプロジェクト学習に興味や関心を示し、意欲的に取り組む姿勢や態度が見られる。
II	思考・判断・表現	・果樹栽培に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。
III	技能	・果樹栽培に関する基礎的な技術を身に付け、プロジェクト学習を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
IV	知識・理解	・果樹に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、果樹の栽培や果樹経営を正しく理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノート」の提出状況「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)	

教科	農 業	科目	草 花	単位数	2
学年	3 年	教科書	草 花 （ 実 教 出 版 ）		
学科	園芸流通科	副教材	な し		

学習目標	①鉢花の栽培を通じて、草花の繁殖から開花までの管理作業技術を習得する。
	②キクやミニバラ等の栽培を通じて、草花の仕立て方を理解する。
	③切り花生産や花壇用草花栽培の技術、施設栽培の管理技術を習得する。

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 秋ギクの栽培管理 (育苗・栽培)	・懸崖菊と盆栽菊の栽培を行い、また大輪菊の栽培管理を観察し、作業の違いを学ぶ。
	2 鉢花の栽培 (さし木)	・キクやミニバラを用いて、鉢花のさし木による繁殖技術を習得する。
	3 切り花生産	・切り花の種類と特色、品質を保持させる技術を習得する。
2	4 秋ギクの栽培管理 (施肥、病害虫防除、開花)	・秋ギクの開花に向け、キクの生育の特徴や管理作業技術を習得する。
	5 苗物栽培 (寄せ植え)	・秋まき1年草を用いて寄せ植えを行い、実際に作品を制作展示し、付加価値の付け方を学ぶ。
	6 鉢もの管理 (冬越準備)	・冬場の鉢もの草花の温度管理技術を習得する。
	7 花壇用草花の栽培	・花壇用草花栽培の現状と課題を知り、利用されている草花の特徴や管理技術を学ぶ。
3	8 観葉植物による室内装飾	・観葉植物の特徴を知り、室内で装飾するために必要な知識と技術を習得する。
	9 複合環境制御	・施設栽培において、温度や湿度等の環境条件をコンピュータを用いて人工的に制御する技術を学ぶ。
課題	① 予習・復習・・・毎回実施した実習内容をプリントにまとめて提出 ② 夏休み課題・・・切り花の市場価格調査、草花のレポート作成 ③ 冬休み課題・・・花壇用草花の調査、寄せ植えのレポート作成	

評価の観点		趣 旨
I	関心・意欲・態度	実験・実習やプロジェクト学習に興味や関心を示し、意欲的に取り組む 態度が見られる。
II	思考・判断・表現	・草花栽培に関する思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。
III	技能	・草花の栽培に関する基礎的な技術を身に付け、草花の生産や流通に関するプロジェクト学習を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
IV	知識・理解	・草花に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、草花の栽培や経営について正しく理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノート」の提出状況「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)	

教科	農業	科目	食品流通	単位数	2
学年	2年	教科書	食品流通 (実教出版)		
学科	園芸流通科	副教材	なし		

学習目標	①食品流通の働きや重要性を学びます。
	②食品の物流やマーケティングについて理解し、実践できる能力を身に付けます。

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 現代生活と食品流通	・流通の成り立ちを知り、流通とは何かを理解します。
	2 食品流通と仕組みと働き	・流通からみた農業生産の特徴を理解します。
2	3 おもな食品の流通	・主な食品の商品特性と流通について学びます。
	4 食品の物流	・物流とは何かを理解します。
3	5 食品マーケティング	・マーケティングの特徴を理解し、戦略の手法を理解します。
課題	①予習・復習…授業ごとにプリントに取り組みます。 ②夏休み課題…食品流通についての調べ学習をします。 ③冬休み課題…食品流通に関するレポートをします。	

評価の観点		趣 旨
I	関心・意欲・態度	・食品流通に関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
II	思考・判断・表現	・食品流通の諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識を基に、食品流通業に携わる者として適切に判断し、表現する能力を身に付けている。
III	技能	・食品の物流やマーケティングに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、流通の諸問題解決に向け合理的に計画し、その技術を活用している。
IV	知識・理解	・食品流通に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、その意義や役割を理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)	

教科	農業	科目	デザイン基礎	単位数	2
学年	3年	教科書	デザイン基礎（自作）		
学科	園芸流通科	副教材	なし		

学習目標	①園芸生産物の販売や流通のデザインに必要な知識と技術を身に付ける。 ②フラワーデザインの作品制作に必要な技術を習得する。
------	---

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 デザインの意義	<ul style="list-style-type: none"> 園芸生産物の流通・販売のデザインの目的と方法を理解する。 色の基本、配色の特徴や色と光の三原色の違いを理解する。
	2 色の表示 (1) 色の三属性 (2) 表色系 (3) 色名	
2	3 光と色 (1) 照明 (2) 色の心理的効果 (3) 色彩調和	<ul style="list-style-type: none"> 表面色は照明により色合い、見え方等が変化することを理解する。 色の持つ視覚効果について理解する。 混色の仕組みを理解する。 コサージ、押し花作品制作に、配色の知識を反映させる。
	4 フラワーデザイン (1) コサージ (2) 押し花	
3	(3) アレンジメントの種類	<ul style="list-style-type: none"> 様々なアレンジメントについて学び、実践できる力を身に付ける。
課題	① 予習・復習・・・事前デザインを考えておく。 ② 夏休み課題・・・農産物販売に用いるロゴ・シンボルマークを制作する。 ③ 冬休み課題・・・オリジナルのフラワーアレンジメントのデザインを考える。	

評価の観点	内容
I 関心・意欲・態度	・デザインに関する知識や技術に興味や関心を示し、意欲的に取り組む態度が見られる。
II 思考・判断・表現	・デザインに関する思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、作品を制作する。
III 技能	・デザインに関する基礎的な技術を身に付け、アレンジメント、押し花作品を制作し、その技術を適切に活用している。
IV 知識・理解	・デザインに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、園芸生産物のデザインについて正しく理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノート」の提出状況「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)

教科	農 業	科目	生物活用	単位数	2
学年	3 年	教科書	生物活用（実教出版）		
学科	園芸流通科	副教材	な し		

学習目標	①野菜や草花等の園芸作物の活用に必要な知識と技術を習得し、それらの生物の特性を活用した活動や両方の特質を理解します。
	②生活の質の向上を図る能力と態度を育てます。

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 ハーブの活用	・ハーブ栽培を通して、その特性や利用方法や加工技術を理解します。
	2 夏野菜の容器栽培	・容器栽培での夏野菜の栽培管理を通して、基本の技術や野菜の特性に応じた栽培管理方法や貯蔵・加工技術を習得します。
2	3 ベジタブルガーデン	・ベジタブルガーデンに関する基本の知識・技術や野菜の特性に応じた管理方法を習得します。
	4 室内装飾	・多肉植物の寄せ植え、ハイドロカルチャーの作品を制作します。
	5 クリスマスリース	・クリスマスリースを作成します。
3	6 フラワーアレンジ	・切り花を用いたフラワーアレンジの基本的知識や技術を学び、作品を制作する。
課題	①長期休業中は、課題として農作物の管理実習を行います。 ②長期休業中の課題は、「栽培レポート」について写真や図を使って、わかりやすくまとめて作成し、提出します。	

評価の観点		趣 旨
I	関心・意欲・態度	農業と環境に関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
II	思考・判断・表現	農業と環境に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
III	技能	農業と環境に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、農業に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
IV	知識・理解	農業と環境に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、農業に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノート」の提出状況「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。 (100点法)	